

第7回 技術士制度・試験講習会

(3)-1

試験申込書、業務経歴票(証明書)、 口頭試験の心構え・体験談

(配布・HP掲載用)

1

平成29年2月18日(土) 場所:原子力安全推進協会

技術士(原子力・放射線部門) 中村 晃

1. 受験の心構え

技術士会ホームページを熟読すること

- 技術士第一次、第二次試験の実施について
- 技術士制度について
- 技術士試験 受験のすすめ
- 技術士試験実施大綱
- 受験申込み案内(配布期間のみ掲示、ダウンロード可)

- 第二次試験では、
受験申込書(業務経歴票)、筆記試験、口頭試験により
技術士としての専門知識及び高等な専門的応用能力
を有していることをアピールすること。

2. 第一次試験 受験申込み

- 受験資格
年齢・学歴・国籍・業務経歴等による制限はない
- 受験申込書の入手
申込書の配布 平成29年6月9日(金)～7月3日(月)
日本技術士会ホームページからダウンロード(推奨:PDF入力可)
日本技術士会技術士試験センター(渋谷区)で入手or郵送で請求
- 受験申込書受付期間(平成29年度)
平成29年6月22日(木)～7月3日(月)(土曜日・日曜日を除く)
原則郵送(書留郵便(7月3日(月)までの消印のあるものは有効)
- 受験手数料(11,000円)は金融機関への振込、ネットバンキング可
- 試験日 平成29年10月8日(日)

2.1 第一次試験 受験申込書

PDFサンプル

提出書類

- ・受験申込書
- ・写真
- ・受験手数料
払込受付証明書

次のフォームに入力してください。このフォームに入力したデータを保存できます。

既存のフィールドをハイライト表示

印刷の際は必ず右のボタンから印刷をしてください
*赤字は印刷されません。

印刷

技術士第一次試験受験申込書

文部科学大臣指定試験機関 公益社団法人 日本技術士会会長 殿
下記により、技術士第一次試験を受験したいので、申し込みます。

平成 年 月 日

(フリガナ)		受験地	
氏名	(男 <input type="checkbox"/> ・ 女 <input type="checkbox"/>)	技術部門	
生年月日	年 月 日生	試験の一部免除を受ける者は、右のいずれかの該当する口に✓を付すこと。	<input type="checkbox"/> 基礎科目及び専門科目を免除 <input type="checkbox"/> 基礎科目を免除
本籍地	都道府県コード	勤務先又は 在学中の学校	学校名
現住所	〒	支店・部課名又は学部学科名	学部学科名
都道府県コード	マンション名等 電話番号	勤務先 コード	最終学歴 コード
		電話番号	卒業(修了)年月

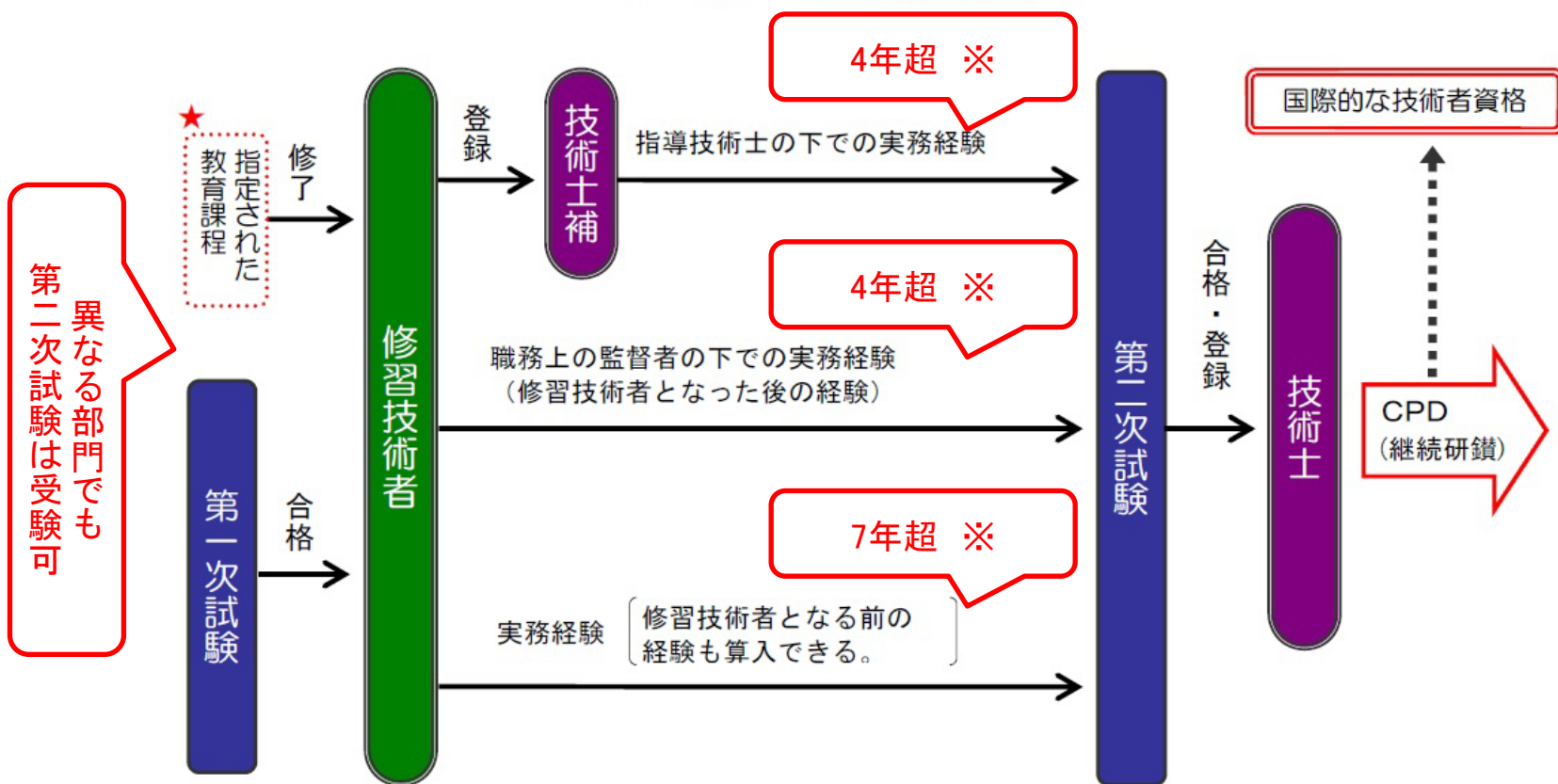
平成28年度 第一次受験申込書

3. 第二次試験 受験申込み

(総合技術監理部門は除く)

○ 受験資格

〔 技術士試験の仕組み 〕



※理系の大学院・博士課程の在学期間 (最大2年)を当該期間から減じる

3.1 第二次試験 概要

- 受験申込書の入手
申込書の配布 平成29年4月3日(月)～4月28日(金)
日本技術士会ホームページからダウンロード(推奨:PDF入力可)
日本技術士会技術士試験センター(渋谷区)で入手or郵送で請求
- 受験申込書受付期間(平成29年度)
平成29年4月7日(金)～4月28日(金)(土曜日・日曜日を除く)
原則郵送(書留郵便(4月28日(金)までの消印のあるものは有効)
- 受験手数料(14,000円)は金融機関への振込、ネットバンキング可
- 筆記試験日 平成29年7月17日(月・祝)
- 口頭試験日時 平成29年11月から平成30年1月までのあらかじめ受験者に通知する日時

3.2 第二次試験 受験申込書サンプル

- 提出書類
 - ・受験申込書
 - ・業務経歴票
 - ・写真
 - ・受験手数料
払込受付証明書
 - ・技術士補となる資格を有することを証明する書類
(第一次試験合格証等)

技術士第二次試験受験申込書

提出日を記入

文部科学大臣指定試験機関 公益社団法人 日本技術士会会長 殿
下記により、技術士第二次試験を受験したいので、申し込みます。

平成 28年 4月14日

①	(フリガナ) トヲノミナト	受験地	B 東京都
	氏名 寅野 皆人 (男 <input checked="" type="checkbox"/> ・女 <input type="checkbox"/>)	技術部門	17 応用理学部門
	生年月日 昭和 42年 7月15日生	選択科目	03 地質 次ページ参照
②	本籍地 三重県 都道府県コード <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="4"/>	専門とする事項	土质地質
	現住所 〒152-0034 東京都目黒区緑が丘7丁目7番7号	総合技術監理部門の受験を申し込む者で、右のいずれかに該当する者は口に入付すこと	他の技術部門と併願 <input type="checkbox"/>
	マンション名等 目黒グリーンヒルズG-707号	選択科目が免除 <input type="checkbox"/>	
	都道府県コード <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="3"/> 電話番号 090-1234-5678	最終学歴	学校名 伊勢大学大学院
③	勤務先 勤務先名 株式会社IPEJ地質	最終学歴コード <input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/>	学部学科名 理工学研究科 構造地質学専攻
	支店・部課名等 開発部 調査課	卒業(修了)年月 平成 4年 3月	
④	勤務先コード <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="2"/> 電話番号 03-346-8827		

下記の該当する口に入付し、必要事項を記入すること。

⑤	<input checked="" type="checkbox"/> 技術士第一次試験合格証番号及び合格年月	第 777777 号	平成 17年 1月
	<input type="checkbox"/> 技術士補登録番号及び登録年月日	第 _____ 号	____年 ____月 ____日
	技術士法第三十一条の二第二項の規定により文部科学大臣が指定した大学その他の教育機関における課程及び当該課程の修了年月		
	学校名	課程	____年 ____月
	学校コード <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/>	課程コード <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/>	

平成28年度 技術士第二次試験受験申込み案内

3.3 第二次試験 選択科目/専門とする事項

技術部門

20. 原子力・放射線部門	
20-1 原子炉システムの設計及び建設	原子炉の理論、原子炉及び原子力発電プラントの設計、製造、建設及び品質保証、安全性の確保、核融合炉その他の原子炉システムの設計及び建設に関する事項
20-2 原子炉システムの運転及び保守	原子炉の理論、原子炉及び原子力発電プラントの運転管理及び保守検査、安全性の確保、原子力防災、廃止措置その他の原子炉システムの運転及び保守に関する事項
20-3 核燃料サイクルの技術	核燃料の濃縮及び加工、使用済燃料の再処理、輸送及び貯蔵、放射性廃棄物の処理及び処分、安全性の確保、保障措置その他の核燃料サイクルの技術に関する事項
20-4 放射線利用	放射線の物理、化学及び生物影響、工業利用、農業利用、医療利用、加速器その他の放射線利用に関する事項
20-5 放射線防護	放射線の物理、化学及び生物影響、計測、遮へい、線量評価、放射性物質の取扱い、放射線の健康障害防止その他の放射線防護に関する事項

選択科目

専門とする事項

平成28年度 技術士第二次試験受験申込み案内

3.4 第二次試験 業務経歴票[証明書]

- 専門とする事項の業務内容(計画、研究、設計、分析、試験、評価、指導)が望ましい
- 集約して4~5業務を記載すること
- 口頭試験で試問される

業務経歴票 [証明書]

大学院における研究経歴/勤務先における業務経歴

- ・ 従事期間は上から「新→旧」の順になっていませんか?
- ・ 従事期間に重複はありませんか?

詳細	大学院名		課程(専攻まで)		研究内容	在学期間	
	年・月～年・月	年月数					
	伊勢大学大学院		理工学研究科 修士課程 構造地質学専攻		ジュラ紀付加体(美濃丹波帯)の構造地質学的研究	平成2年4月 ～平成4年3月	2 0
勤務先(都道府県まで)	所在地(市区町村まで)	地位・職名	業務内容		従事期間		
株式会社 IPEJ 地質 中部支社 調査課	愛知県 名古屋市	技術員	開発造成地の地質調査、分析		平成4年4月 ～平成7年3月	3 0	
～社名変更～ 株式会社 IPEJ 地質 中部支社 調査課	同上	同上	同上		平成7年4月 ～平成10年3月	3 0	
同上	同上	主任 技術員	地すべり原因の調査、分析及び対策案の計画		平成10年4月 ～平成16年9月	6 6	
株式会社 IPEJ 地質 地質部 調査課	東京都 港区	課長	急傾斜地の地質調査、分析・評価		平成16年10月 ～平成20年3月	3 6	
<input checked="" type="radio"/>	同上	同上	道路構造物建設に伴う地質調査、分析・評価		平成20年4月 ～平成28年3月	8 0	
※業務経歴の中から、下記「業務内容の詳細」に記載するもの1つを選び、「詳細」欄に○を付して下さい。						通算合計年数	26 0

上記のとおり相違ないことを証明する。平成 28年 4月 10日

事務所名 株式会社 IPEJ 地質
証明者役職 代表取締役社長
証明者氏名 田中 山八

公印 ④

業務内容の詳細

当該業務での立場、役割、成果等

業務経歴票

※ 別紙に作成した経歴票の提出は無効

3.5 第二次試験 業務内容の詳細

- リーダー、責任者、教育・指導的立場での業務内容(計画、研究、設計、分析、試験、評価、指導)が望ましい
- 業務の課題をいかに解決したか(課題解決能力)
- 問題点を見つけ、どのように改善したか(PDCAの観点)
- 口頭試験で試問される

720字以内、図表不可

業務内容の詳細

当該業務での立場、役割、成果等	
立場と役割	起 〇〇〇〇プロジェクト××××建設業務(期間:平成XX年XX月~XX年XX月)のうち、△△△△に建設した輸出用大型原油タンクの鋼板設計、溶接設計及び□□のタンクメーカーへの建設全体の指導の業務を本業務責任者として行った。
業務上の課題	承 最新の国際基準を満たした国際大型プロジェクトの仕様と、□□国内法規に固執した□□建設業者の施工法をうまく調和させるという課題があった。□□人技術者、監督者、作業者の気質を理解しながら、彼らを納得させ、世界的に最新鋭な大型原油タンクの、設計から現場施工の完成までを指導せざるを得なかった。
技術的な提案	転 ◇◇◇◇という極寒冷地(-XX℃の設計仕様)で建設、運転される大型原油タンク(容量999,999KL)の鋼板に、世界で初めて▽▽▽(ABCDE12345)を採用した。また、現場の側板(最大99MMT)の立向き溶接に半自動溶接を採用し、建設工程の短縮化を図った。
技術的成果	結 □□国内法(YYY, ZZZ)を遵守することはもちろん、「FGHIJK」などの国際規格を満足する最新仕様の原油タンクを□□に建設した意義は大きい。□□のタンクメーカーからは、世界的な技術競争力を得られた貢献で感謝状を受領し、□□□□からは高品質なタンクを安全に建設したことで評価された。

4. 口頭試験 概要

○ 平成29年度技術士第二次試験実施大綱

試問事項		配点(合否判定基準)	試問時間
I 受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容及び応用能力	1.経歴及び応用能力	60点(60%以上の得点)	20分(10分程度の延長あり)
	II 技術士としての適格性及び一般的知識	20点(60%以上の得点)	
	3.技術士制度の認識その他	20点(60%以上の得点)	

4.1 口頭試験の準備

試問事項		準備すべきこと
I 受験者の技術的体験を中心とする経歴の内容及び応用能力	1.経歴及び応用能力	<ul style="list-style-type: none">・受験の動機と今後の抱負・業務経歴票と業務内容の詳細 簡潔に説明、想定QA(失敗した例など)・選択科目Ⅲ(課題解決能力)の解答復元・論文
	II 技術士としての適格性及び一般的知識	<ul style="list-style-type: none">2.技術者倫理<ul style="list-style-type: none">・技術士会の倫理要綱、技術者倫理 想定QA(倫理に反した場合の対応など)・原子力学会倫理・最近のトピックス(偽装問題など) 倫理に欠けることでニュースになった例3.技術士制度の認識その他<ul style="list-style-type: none">・技術士法の理解 第一条(目的)と第二条(定義) 技術士の3義務と2責務(暗記+理解) 罰則・技術士CPD、APECエンジニア、特許

4.2 口頭試験 体験談及びアドバイス

- 想定試問に対する回答を作成し、暗記するまで声を出して練習した。練習することにより、口頭試験では落ち着いて回答できた。
- スーツ着用、清潔な身だしなみ、遠方者は前泊
- 入室時には受験番号と氏名を言う
- 口頭試験官が自分とは他の専門であることを想定
- 試問に対して、口答えや批判めいた回答はしない